



# ニュースレター

2013（平成25）年10月31日 グリーフワークかがわ広報部

## \*グリーフワークかがわ会員から「私のおすすめの一冊」\*

『くまとやまねこ』（河出書房新社）

ある一匹のくまが、仲良しの小鳥が死んで泣いているシーンから始まります。くまは小鳥とお別れすることができず、小鳥を小さな箱に入れて大切に持ち歩きます。森の動物たちからは、小鳥のことを忘れるようにと言われます。その後、くまは家に閉じこもってしまいます。

ある日、くまが窓を開けると外はとてもいい天気。くまは陽気に誘われて外に出ます。そこで山猫と出会い、箱の中を見せます。山猫は森の動物たちとは違う声かけをします。それからくまは本格的に喪の作業に入る事ができました。

グリーフワークのお手本のような絵本です。言葉がまだ十分に発達していない子どもが喪の作業をする手助けになる本だと思います。また、大人にも一度は読んで欲しい絵本です。

曾利真弓

### 第14回公開セミナーを終えて…

平成25年9月22日（日）

「私のエンディングライフ～あなたらしい最期のために～」と題し、最近少しずつ世の中に浸透してきた人生の終焉（エンディング）について話しを進めました。

私たちは、日常生活を営む中で、エンディングを意識して日々を生きている人はいない、に等しいと思われれます。

しかし、実はこのエンディングこそが人生（人の歩み）の中でもっとも重要な部分であり、避けては通れない場面でもあるのです。

このたびの公開セミナーでは「グリーフワークかがわ『からの発信ということ』を余りにも意識しすぎた為、前半、エンディングとグリーフ（喪失）体験を結びつけてしまったことが、結果、暗い感情を齎せてしまったことに反省しています。

後半では、家族葬が主流になりつつある昨今のお葬式スタイル、超高齢化社に生きる今どきのセレモニー（生前葬）について触れました。

自分の心と向き合い、これから過ごし行く尊い時間を見つめることにそれでもまだ、抵抗はありますか…？

安心で平穏な明日のために、自分に合ったエンディングライフの選択肢を沢山増やして欲しいと願わずにはられません。

塩田 征子（ヘルプラインカウンセラー・グリーフワークかがわ理事）

## ◆10月13日 第56回 理事会開催◆

### 《報告事項》

#### 1. 2013年度香川県地域自殺対策緊急強化基金事業 進捗状況について

- 1) 対面型相談支援事業:身近な人をなくした方のグループミーティングについては、10月1名(新規1名)、9月5名(新規2名、継続3名)の報告があった。
- 2) 電話相談支援事業:ヘルプライン電話カウンセリングは9月に0件、自殺予防ホットラインかがわは9月に2件の報告があった。
- 3) 人材養成事業:ヘルプラインカウンセラー養成講座は、これまで4回の講座を終了したことについての報告があった。

#### 2. 第14回相談担当者会議について

9月15日に開催され、相談の報告および面談相談についての実施要領やプロシユールが作成されたことの報告があった。

#### 3. 第14回公開セミナーについて

9月22日(日)に高松市男女共同参画センターにて開催された。講師は塩田征子(ヘルプラインカウンセラー・グリーンワークかがわ理事)が務め、テーマは「私のエンディングライフ～あなたらしい最期の為に～」で参加者は12名(講師含む)であった。

#### 4. 香川県自殺対策連絡協議会とゲートキーパー宣言集会について(次回に報告)

#### 5. 高松市民フェスティバル実行委員会について

9月14日に行われたことの報告があった。

#### 6. 高松市精神保健ネットワーク会議報告(次回に報告)

### 《審議事項》

#### 議題1 高松市長まちかどトークについて

当日の役割についての確認(司会、塩田事務局長、挨拶、杉山理事長、活動報告、池島理事長)が行われ、質問事項については、既に会員に配布しているものをベースに行うことと、資料準備は事務局が行うことが承認された。

#### 議題2 面談による個別相談事業について

相談担当者会議で作成されたプロシユール及び実施要領について審議され、プロシユールについては、修正の指摘があり、実施要領については修正なしで印刷発注を行うことが承認された。担当者の事前研修は、11月17日に行われることが承認され、事業実施については、理事長から11月開始としたい旨の提案があり、担当の古澤コーディネーターの調整により、研修開始前の相談に当たっては、これまでの経験等を考慮し担当を入れることが可能な登録者で対応することが承認された。

#### 議題3 相談担当者研修について

相談事業担当者を対象とするスーパーバイズの研修については、古澤コーディネーターが取りまとめており、その計画にそって実施し、相談事業従事者は受講するよう努めることが承認された。

#### 議題4 広報について

理事長から、グリーンワークかがわのHPのリニューアルについて報告され、ホームページ管理費について、リニューアルに係る費用と、通常管理費の値上げについての検討の必要性が提案され、承認された。

#### 議題5 グリーンワークに関する文献のHPへの掲載について

次号以降のニューズレターから「私のおすすめの一冊」ということで承認された。

## 議題6 2013年度上半期(4月~9月)事業執行状況について

池島副理事長から、決算書に基づき、次のような説明があった。

- ① 上半期の予算面の執行状況については、会費収入は予定どおり、寄付金収入については、使途制限付き寄付金収入が大幅に増加している等の説明があった。
- ② 当法人の事業運営として、会費や寄付金収入の安定的な確保を図ることが重要だが、大幅に増加することはないという認識を持つことが大事であるとの説明があった。
- ③ 固定支出として相談室の賃料や一定の事務局経費が会費収入の規模と比較し、かなり大きなことから、県の自殺対策基金の活用ができなくなると、法人の運営が財政面で厳しくなることが指摘された。
- ④ ③の対策として、一定の参加費の収入が確保できるような事業、例えばカウンセラー養成講座などを、特に、専門職向けの研修等の充実を図り、収入増の対策をとる必要のあることが指摘された。

以上①から④までの報告について承認され、杉山理事長から、次回の理事会で、来年度における専門職向けの研修企画書の提出についての提案がなされ、承認された。

## 議題7 2014年度基金事業について

理事長から、情報収集及び当法人の意向に関して県担当部局と協議することが提案されたが、国の来年度予算が不明な現段階では情報収集があまりできないとの意見があり、採決には至らなかった。

曾利理事から、収入増の対策として、当法人が「クリック募金」に参加すればどうかという提案があり、次回の理事会で「クリック募金」に関する事業内容等について、調査報告することが承認された。

## 議題8 2013年度ヘルプラインカウンセラー資格認定について

理事長から、理事に既にメール等により送信している日程や計画等にそって実施していくことが報告され、その旨、承認された。

## ◆10月20日 第15回グリーンかがわ相談者担当会開催◆

### 1 相談事業報告(9月分)

- ・ホットライン3件
- ・ヘルプライン0件(問い合わせ4件)
- ・グループミーティング5名

### 2 面談による個別相談事業

#### 1) 理事会での承認を得たことについて

対面型個別相談 対応マニュアルについて承認されたこと、プロシジュールの変更は「ブルーな気分」に寄り添います」を削除したことが報告された。ブルーな気分限定せず、あなたの気持ちに寄り添いますという表現で、表紙を開くと「このような方のご相談をお受けしております」という文面がくるようにする。

#### 2) プロシジュール印刷に関することと発送予定について

- ・現在発注したところで校正され返ってきて印刷し完成となる。11月中旬に完成予定。
- ・11/24日曜日、公開セミナーの後、配送準備をする。
- ・配送先については2012年度と同様とする。
- ・PRカードを作成する。デザインは曾利さんに依頼し、発注先は他のPRカードと同様にする。
- ・プロシジュールとPRカードが完成したら、コーディネーター古澤さんと事務局担当で日程調整し、高松市保健センター、香川県精神保健福祉センター、高松市の市民課に持参して説明する。
- ・ホームページは11月1日より公開する準備中であり相談室の地図についても準備中。

### 3) 相談室確保のための物件について

- ・良い所が見つかるまで今のところを使って個別面談を行う。
- ・今回、移転を機会に助成金を受けられたら良い。事務局で必要な物品を書き出して助成金の情報収集を行うよう依頼する。

### 3 その他(相談実務等で検討したい事項等)

- ・市民フェスティバル(11/25~11/27)に掲載するポスターは前回と同じで良い。搬入、搬出の手伝いは個別に依頼する。
  - ・対面型個別相談対応マニュアルをもとに、相談の終わり方、次回の予約の受け方等について検討した。今後、相談室にパソコンを設置し、管理システムを整備して行く方向で、助成金の確保などに取り組むことが話し合われた。
  - ・相談事業に担当として登録している人のメーリングリストを新たに作成し、コーディネーターが今後の予定や情報をそのメーリングリストに配信することとなった。
  - ・理事会で検討してほしい事
- ① 現在、自殺基金事業の助成を受けているが本来のグリーフ(喪失)カウンセリングをして助成を受けていく方向で検討してほしい。
  - ② 相談員は社会貢献の使命感で行っている。経済的に困窮を抱えている人にも相談対応していきたいがそのための助成を受けられないか。
  - ③ 対象者によっては、料金を安くしての相談を組み込んだ年間の事業予算を組む。これは社会貢献となり募金集めにも効果的ではないか

#### 編集後記

今月より会員からの「お勧めの一冊」と題して図書の紹介をしていただくことにしました。紹介された本に興味を持っていただけましたか? 今後は、偶数月に掲載させていただきます。

10月17日に高松市長まちかどトークがありました。私は出席できなかったのですが「グリーフワークかがわ」の主旨など説明できたことで、この活動が市民にとって大切なことであると理解されたことと思います。良い意見交換の場となったと聞き、高松市長と会える機会に出席できなかったことが残念でなりません。

(編集担当 植村)

#### 今後の予定

11月7日(木) 18時30分~20時30分 HCL養成講座V 場所: サンポートホール高松

11月10日(日) 10:00~11:30 身近な人をなくした方のグループミーティング

場所: 高松市男女共同参画センター

11月10日(日) 13時30分~16時 第55回理事会 場所: 高松市男女共同参画センター

11月14日(木) 18時30分~20時30分 HCL養成講座VI 場所: サンポートホール高松

11月17日(日) 10時~11時30分 相談担当者会議 場所: 高松市男女共同参画センター

11月17日(日) 13:00~15:00 2013年度第2回相談従事者研修

11月24日(日) 10時~12時 第15回公開セミナー 場所: 高松市男女共同参画センター

11月24日(日) 13:00~15:00 グループミーティング担当者研修会

場所: 高松市男女共同参画センター

11月25日(月)~27日(水) 高松市民フェスティバルパネル展 場所: 高松市役所

11月28日(木) 18時30分~20時30分 HCL養成講座VII 場所: サンポートホール高松